

過去の実施事業一覧  
も掲載しています！  
【28ページ～】

船橋市 市民公益活動公募型支援事業

# 事業事例集

令和5年度 実施分



市民協働課 PR キャラクター

@ワン

@にゃん



船橋市 市民生活部 市民協働課(令和6年8月発行)



# 目次

本事例集の発行にあたって	1 ページ
令和5年度 交付実績	1 ページ
令和5年度 実施事業 全13団体 ( )は事業名	
<u>1 船橋古文書の会</u> (読んでみませんか！古文書講座(初級編))	3 ページ
<u>2 NPO 法人発達障害支援ネット「YELL」</u> (発達障害に関する講演会)	5 ページ
<u>3 船橋行田公園走友会</u> (第32回 船橋行田公園100kmリレーマラソン)	7 ページ
<u>4 いごっちクラブ</u> (囲碁で友だちの輪をつくろう)	9 ページ
<u>5 スペシャルキッズプロジェクト</u> (スペシャルキッズプロジェクト「和太鼓ワークショップ」)	11 ページ
<u>6 千葉県ダンススポーツ連盟千葉西支部</u> (社交ダンススポーツの普及活動)	13 ページ
<u>7 ゴスペル・ママズ</u> (歌って、ハモってリフレッシュ！ゴスペルワークショップ)	15 ページ
<u>8 MOA 健康生活ネットワーク船橋</u> (一輪の花を生けるために空き缶を使ったリサイクル花器づくり)	17 ページ
<u>9 童謡文化の会</u> (童謡・唱歌を歌って、学ぼう！)	19 ページ
<u>10 むねあかどり</u> (『地域の HUB (ハブ) = つなぎ役に』高齢社会・障害者福祉を学び、 介護してる方へのリフレッシュを。)	21 ページ
<u>11 NPO 法人千葉県中途失聴者・難聴者協会東葛南事務所</u> <u>船橋友の会</u> (難聴者と会話しやすくなるコミュニケーション講座)	23 ページ
<u>12 一般社団法人 マザーナースオリーブ</u> (医療者による子育てイベント)	25 ページ
<u>13 はぐくみハグミー</u> (障害という壁をなくし住みやすい地域社会の実現を目指す)	27 ページ
これまでの交付実績(平成22年度～令和4年度)	29 ページ

## 本事例集の発行にあたって

「船橋市市民公益活動公募型支援事業」は、「市民との協働によるまちづくり」があらゆる場面で展開されるように、市民の皆さんによる地域に役立つ取組みに対し、平成22年度に創設されました。

本事例集は、事業創設初年度から、事業を実施した団体の協力を得て毎年度作成しています。これまで作成した事例集は、市ホームページにて公開していますので、是非ご覧ください。

支援金の種別	支援率上限 <sup>(※2)</sup>			限度額
	1年目	2年目	3年目	
<b>【Ⅰ型】</b> 市民活動団体が行う、1つの公益的なイベント等の実施に対する支援金	90%	80%	70%	10万円
<b>【Ⅱ型】</b> 市民活動団体が行う、一連の公益的な活動に対する支援金	60%	50%	40%	100万円

## 令和5年度 交付実績

種別	申込(件)	採択(件)	交付決定(件)	交付(件)	交付額(円)
I型	11	11	11	9	539,068
II型	4	2	2	2	138,723
合計	15	13	13	11	677,791

※「船橋行田公園走友会」および「千葉県ダンススポーツ連盟千葉西支部」の2団体は、事業収入で事業費を賄うことができたため、支援金の交付はなし

# 事例紹介

(全 13 事業)

団体名	船橋古文書の会	
事業名	読んでみませんか!古文書講座(初級編)	種別 I型(3年目)

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体などの主催の講座は、抽選によって、学習機会が限られる</li> <li>・一人での古文書学習は限界があると考えて断念する人が多い。</li> </ul>
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業内容・目的	読んでみませんか!古文書講座(初級編)																									
	【目的:古文書学習に学習の場を提供し、生涯学習として取り組めるきっかけを提供】																									
	<input checked="" type="checkbox"/> いつ? ・第1回 令和5年7月29日(土) ・第2回 令和6年2月18日(日)	<input checked="" type="checkbox"/> 講師は? 東京堂出版編集部長 小代 渉氏																								
	<input checked="" type="checkbox"/> どこで? 勤労市民センター会議室	<input checked="" type="checkbox"/> 内容は? ・第1回 『初物野菜につき町触』を使ったくずし字講座 ・第2回 『偽役人につき町触』を使ったくずし字講座																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 参加者は? ・第1回 54名 ・第2回 40名																									
	<table border="1"> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>59,207円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>0円</td> </tr> </table>	事業費(A)	59,207円	事業収入	0円	<table border="1"> <tr> <td><b>支援金(B)</b></td> <td><b>47,365円</b></td> </tr> <tr> <td>事業費に占める支援率(B/A)</td> <td>80%</td> </tr> </table>	<b>支援金(B)</b>	<b>47,365円</b>	事業費に占める支援率(B/A)	80%																
事業費(A)	59,207円																									
事業収入	0円																									
<b>支援金(B)</b>	<b>47,365円</b>																									
事業費に占める支援率(B/A)	80%																									
	事業費内訳(単位:円)																									
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>報償費</td> <td>40,000</td> <td>4</td> <td>通信費</td> <td>1,260</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>文具・コピー代</td> <td>5,037</td> <td>5</td> <td>保険料</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>印刷製本費</td> <td>170</td> <td>6</td> <td>会場使用料</td> <td>8,740</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>1~6 合計(A)</td> <td>59,207</td> </tr> </table>	1	報償費	40,000	4	通信費	1,260	2	文具・コピー代	5,037	5	保険料	4,000	3	印刷製本費	170	6	会場使用料	8,740					1~6 合計(A)	59,207	
1	報償費	40,000	4	通信費	1,260																					
2	文具・コピー代	5,037	5	保険料	4,000																					
3	印刷製本費	170	6	会場使用料	8,740																					
				1~6 合計(A)	59,207																					

効果	・講座が生涯学習として取り組むきっかけとなり、参加者同士の交流のきっかけとなった
----	------------------------------------------

工夫したこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回のアンケート内容に、少しレベルアップした内容の講座の要望が増えたため、初心者向けから初級者向け講座に変更した。この結果、応募者数は若干減少したが、募集定員は確保でき、講義内容の評価も上がった。</li> <li>・前回から、女性の応募者が50%を超え、女性層の学習意欲が高いことが判明。このため、女性スタッフを増やし、女性の参加し易い運営や要望に対応する対策を取った。</li> </ul>
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

担当者より	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回目は、予定した会場が抽選外れで確保できず、定員42名の会場で開催したため、多くの応募者をお断りしたこと、またスタッフも会場に入れず会場外待機となったことは残念であった。</li> <li>・2回目終了後、会の定例会見学会を開催し、予定を大幅に超過する応募があった。ただ、当会の受入れ態勢が出来ず、大半をお断りし、5名の新規入会者を迎えることとなった。新規入会者は、当会では初めて女性3名、男性2名と女性が過半数となった。</li> </ul>
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【1回目】7月29日9:30～  
会長挨拶  
冒頭で船橋市の支援事業であることを説明し、講座及び講師の紹介を行いました。



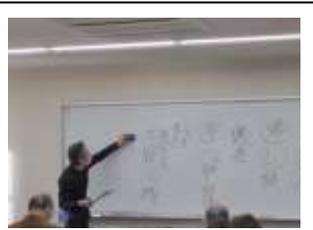
【1回目】7月29日9:30～11:30  
講義中の様子(一般参加者54名)  
第1会議室と第2会議室をつなげた会場(定員78名)で、勤労市民センターでは一番大きな会場です。感染対策で2人掛け。



【1回目】7月29日  
受付の様子  
コロナ対策の検温は実施。手指消毒は中止。  
受付終了後は、遅刻者に向けて後部入口からの入室を促す掲示。



講義中の様子：講師は黒板に大きな文字を書いて解説。後ろからも見えるよう、太字マーカーやマーカー消しなどを用意した。



【2回目】2月18日12:30～16:30  
講義中の様子。  
第1講習室(定員42名)となったため、35名でも3人掛けで満席状態の会場となりました。



【2回目】2月18日12:30～16:30  
講義中の様子：受講者は、配布された原稿用紙に、一字一字解説を聞きながら、書き取っています。



講義中の様子：講師は黒板に大きな文字を書いて解説。後ろからも見えるよう、太字マーカーやマーカー消しなどを用意した。

【1回目】7月29日

【2回目】2月18日



【2回目】2月18日12:30～16:30  
受付の様子  
コロナ対策の検温、手指消毒は中止。  
予定した会場を確保できず、机椅子も受講者用を優先し、受付用机椅子を設置せず、立っの対応とした。



団体概要：当会は平成十年、船橋市内の有志が集まって設立した古文書学習の同好会です。定例会は新京成沿線の公民館を基本に月二回開催しています。地元千葉や船橋の古文書を取り上げて地域文化の掘り起こしを行うとともに、国立公文書館などの古文書を広く取り上げて読んでいます。特に力を入れているのが、新入会員への教育です。独学で断念する方も多い古文書学習を、古参会員が援助し、新入会員が出来るだけスムーズに会の活動に参加できるようバックアップする制度です。また、一般の方を対象とした古文書講座を開催し、古文書の面白さを体験いただく活動も行っています。

問合わせ先 氏名：井上正道 e-mail: inouefa@skyblue.ocn.ne.jp

団体名	NPO 法人発達障害支援ネット「YELL」	
事業名	発達障害に関する講演会	種別 I 型(3年目)

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における特別支援教育の啓発が進んでいない</li> <li>・コロナ禍の影響が消えきらぬ中、悩みを相談できずに1人で抱えやすい状況がある</li> </ul>
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業内容・目的	<b>発達障害に関する講演会</b>											
	【目的:発達障害の当事者及びその支援者の支援、一般市民への啓発活動】											
	<input checked="" type="checkbox"/> いつ? ・1回目 令和5年10月15日(日) ・2回目 令和6年1月28日(日)	<input checked="" type="checkbox"/> 講師は? ・1回目 上野 一彦 氏 (東京学芸大学名誉教授) ・2回目 ・伊庭 葉子 氏 (株Grow-S さくらんぼ教室代表)	<input checked="" type="checkbox"/> どこで? 勤労市民センター とオンライン(Zoom)のハイブリッド開催	<input checked="" type="checkbox"/> 参加者は? ・1回目 54名(会場23名、Zoom31名) ・2回目 59名(会場26名、Zoom33名)								
	<input checked="" type="checkbox"/> 何を? ・1回目 講演会「特別支援教育のこれから～自立と社会参加を目指して地域活動に期待すること」 ・2回目 障害のある人への就労支援	<table border="1" style="width:100%;"> <tr> <td style="text-align:right;"><b>事業費(A)</b></td> <td style="text-align:right;"><b>92,653 円</b></td> <td style="text-align:right;"><b>支援金(B)</b></td> <td style="text-align:right;"><b>62,153 円</b></td> </tr> <tr> <td style="text-align:right;">事業収入</td> <td style="text-align:right;">30,500 円</td> <td style="text-align:right;">事業費に占める支援率(B/A)</td> <td style="text-align:right;">67%</td> </tr> </table>			<b>事業費(A)</b>	<b>92,653 円</b>	<b>支援金(B)</b>	<b>62,153 円</b>	事業収入	30,500 円	事業費に占める支援率(B/A)	67%
	<b>事業費(A)</b>	<b>92,653 円</b>	<b>支援金(B)</b>	<b>62,153 円</b>								
事業収入	30,500 円	事業費に占める支援率(B/A)	67%									
事業費内訳(単位:円)												
1	講演会講師代	40,000	4	Zoom 使用料・チラシ郵送費	7,383							
2	印刷用紙・文具	15,660	5	会場使用料	24,020							
3	リーフレット・チラシ印刷	5,590	1~5 合計(A)		92,653							

効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者の成長の助け方や社会への送り出し方について体系的に学ぶ機会を提供できた</li> <li>・悩んでいる参加者が必要な情報を得たり、交流したりできる場を提供できた</li> </ul>
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

工夫したこと	<p>発達障害のある子どもや家族の年齢が上がるにつれ、講演会参加者からは就労についての情報を知りたいという声が多く聞かれるようになりました。就労につなげるためのライフスキルを普段の生活の中でどのように育てていけばよいかといった新たなニーズに応えるべく、令和5年度は発達障害のある人が社会参加するためにどのような準備が必要なのかをテーマにした講演会を実施しました。また、令和3、4、5年度と連続して、会場とオンラインを併用したハイブリッド型の講演を実施することで、直接会場に足を運べる人だけでなく、子育てや介護の合間にオンラインだからこそ参加できる人などが参加しやすい講演会を継続することができました。</p>
担当者より	<p>講演会の参加者からは、「とてもわかりやすいお話で視野が広がりました」「具体的な実践を学ぶことができました」「障害のある方の就労に必要な考え方を知る機会になりました」などの多くの声が寄せられました。</p> <p>これからも、発達障害のある人の家族や支援者、教育関係者などが、悩みを抱えているのは自分だけではないと感じることができ、具体的な情報や支援方法も知ることができるように、情報発信と連携を大切にして、一人で悩みを抱えない社会を目指して活動していきたいと考えています。関心のある方はお気軽に講演会に足をお運びください。</p>



勤労市民センターでのハイブリッド型講演会の様子



#### 団体概要

2011年に発足して以来、「発達障害の理解と支援の輪を地域に広げよう!」という趣旨の基に活動しています。発達障害は見た目ではわからないことから周囲から理解されにくく、本人や家族は、「しつけが悪い」「努力不足」などの批判を受け孤立しやすい状況があります。発達障害の当事者とその家族、支援者、教育関係者、地域の人に向けて講演会や学習会、交流会などを継続的に実施し、発達障害への理解と支援を学ぶ機会を設けて啓発に重点をおいて活動しています。

問合わせ先 氏名: 宗形奈津子 e-mail: [newinfo@shiennet-yell.page](mailto:newinfo@shiennet-yell.page)

団体名	船橋行田公園走友会		
事業名	第 32 回 船橋行田公園 100 km <sup>3</sup> リレーマラソン大会	種別	I 型(3 年目)

課題	・行田公園での組織的な活動が少なく、世代間交流も希薄である
	・健康のために個人で運動をしている人がいるが、地域全体での活動は少ない
	・健常者と障害者が一緒に活動する場が少ない

事業内容・目的	<b>第 32 回 船橋行田公園 100 km<sup>3</sup>リレーマラソン大会</b>			
	【目的: 世代関係なくランナーが走ることで、地域の共生及び活性化を図る】			
	☑ いつ? 令和 5 年 8 月 6 日(日)	☑ 参加者は? 一般ランナー35 チーム		
	☑ どこで? 船橋行田公園	☑ その他		
	☑ 何を? 10 人 1 チームで、100 周または 50 周の <sup>3</sup> リレーマラソン大会	ふなばし夏のボランティア体験事業として、延約 30 名の学生ボランティアが運営協力		
	事業費(A) 164,484 円	支援金(B) 0 円		事業収入 280,000 円
事業費に占める支援率(B/A) 0%				
事業費内訳(単位:円)				
1	走路警備費	50,700	3	スポーツ傷害保険料 54,558
2	運営消耗品費(消毒用品等)	26,914	4	公園使用料 32,192
3	郵便切手代	120	1~4 合計(A) 164,484	

効果	・老若男女が同じコースでタスキを繋ぎ走ることによって地域活性化や世代間交流が促進された
	・ボランティア活動に参加した青少年の社会性が向上した

工夫したこと	<p>コロナ禍以後とはいえ、飛沫感染の対策及び中継所の混雑解消のために、中継所を 100 km<sup>3</sup>リレーと 50 km<sup>3</sup>リレーの 2 箇所に分けて大会を実施しました。</p> <p>熱中症対策として、各チームに塩タブレットを配布するとともに、コース上で散水を行い、4 人または一人のランナーが 3 周回以上の連続走行を禁止としました。</p> <p>ふなばし夏のボランティア体験事業を通じて学生ボランティアを募集して、多くの学生に参加していただきました。</p>
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

担当者より	<p>市民公益活動公募型支援事業として採択されたことで、学生ボランティアの募集に際しても多くの学生の応募をいただくことが出来ました。また、千葉県からのチーバ君借用に際しても、公益活動公募型支援事業ということで、快く借りることができました。</p> <p>令和 6 年度以降も、行田公園 100 km<sup>3</sup>リレーマラソン大会を継続することで、地域の交流の場として、また世代間の交流にも寄与していきたいと考えています。(令和 6 年度は 41 チーム参加予定、主に小学生を対象とした 20 km<sup>3</sup>リレーマラソンも実施予定。</p>
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



学生ボランティアにもご協力いただきました

#### 団体概要

船橋行田公園走友会は、毎月第 2、3 日曜日、第 4 土曜日、朝 8 時から地域の皆さんと一緒にラジオ等を行ったあと、ジョギング、ウォーキング等を行い、地域の皆さんの健康づくり活動を行っています。そのあとは走友会メンバーと希望者で行田公園やその他船橋市内外をランニングしているグループです。ラジオ体操等は、どなたでも参加可能です、お気軽に皆様の参加をお待ちしています。またボランティアも募集しています。

なお、ラジオ体操等のない日は、谷津干潟や幕張等にも走りに行っています。

問合わせ先 | 氏名: 木下 真一 e-mail: naorina700@yahoo.co.jp

団体名	いごっちクラブ	
事業名	囲碁で友だちの輪をつくろう	種別 I型(1年目)

**課題**

- ・近所付き合いが少なく、地域の活動がないため、子供たちが交流する機会が少ない
- ・サッカー等スポーツの活動による交流はあるが、文化的な活動をする場があまり無い

**船橋市浜町公民館**  
【目的: 囲碁を通じた近隣地区の子どもたちの交流の場の提供】

**事業内容・目的**

<input checked="" type="checkbox"/> いつ? 令和5年7月30日(日) <input checked="" type="checkbox"/> どこで? 浜町公民館 <input checked="" type="checkbox"/> 内容は? ルール説明、模範対局、プリント問題のあとに実際に対局を行った。1人あたり6～10回程程度の対局ができ、違う学校・学年の友だちができた。	<input checked="" type="checkbox"/> 講師は? 山下 功 氏(ふなばし囲碁協会会長 NPO 法人囲碁文化継承の会理事長) <input checked="" type="checkbox"/> 参加者は? 41名 市内小学校(4校)、幼稚園(4園)、保育園(2園)の子ども達が参加
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<b>事業費(A)</b> 57,164円 <b>事業収入</b> 0円	<b>支援金(B)</b> 51,447円 事業費に占める支援率(B/A) 90%
-----------------------------------------	----------------------------------------------

事業費内訳(単位:円)

1	講師謝礼	30,000	4	チラシ送料	7,530
2	消耗品	9,666	1～4 合計(A)		57,164
3	コピー・チラシ代	9,968			

**効果**

- ・囲碁を通じた近隣地区の子どもたちの交流の場を提供することができた

**工夫したこと**

たくさんの友だちを作ってもらおうと、最初だけ席を指定したが、対局が始まったら移動自由にした。「囲碁を知らない子」が楽しめるよう、わかりやすい説明と話しやすい雰囲気を作った。ミニ碁盤を利用したので、ゲーム感覚で何度も何度も対局できた。家に帰ってからもご家庭で楽しんでもらおうと紙製ミニ碁セットを配布した。

**担当者より**

クラブとしてイベントの開催は初めての試みだったが、市民協働課のみなさんのご協力のおかげで予定以上の子どもたちに参加してもらえた。チラシを作ったり、講師を手配したり等、イベントの準備は大変だったが有意義な活動ができた。「囲碁」というなじみのないものでも、興味を持ってもらえたこと、こういう小さなきっかけで子どもたちに新しい友だちができたことが嬉しい。地域交流にもつながったと思う。



たくさんの子達が集まりました



実際に対局している様子



#### 団体概要

「いごっちクラブ」は小学生を対象とした囲碁サークル。設立 15 年目。  
ボランティアの先生と保護者で運営。  
船橋青少年会館で土曜日の 9:30～11:30 に活動中。

問い合わせ先 氏名: 細根聡美 e-mail: igocchiclub@yahoo.co.jp

団体名	スペシャルキッズプロジェクト		
事業名	スペシャルキッズプロジェクト vol.7 和太鼓ワークショップ	種別	I型(1年目)

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障がいや知的障がいのある子どもの家庭は、親子での外出を控えたり、諦めたりすることが多い状況である。</li> <li>・地域のイベントなどに参加しにくく、親子ともに自宅にこもりきりになる傾向がある</li> </ul>
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業内容・目的	<b>スペシャルキッズプロジェクト vol.7 和太鼓ワークショップ</b> <b>【目的:発達障がいや知的障がいのある子どもとその家族と一緒に楽しめる場をつくる】</b>																					
	<input checked="" type="checkbox"/> いつ? 令和5年8月5日(土)	<input checked="" type="checkbox"/> 内容は? ・和太鼓パフォーマンス観賞(講師演舞) ・お題やイメージに合う音を和太鼓で探しながら実際に和太鼓に触れてみて表現 ・参加者1人ずつ、和太鼓を演奏 (心に浮かぶままに和太鼓の音を出した)																				
	<input checked="" type="checkbox"/> どこで? 市民文化ホール																					
	<input checked="" type="checkbox"/> 参加者は? 15家族41名																					
	<input checked="" type="checkbox"/> 講師は? 和太鼓 USAGI (千葉を拠点に演奏する女性5人の和太鼓グループ)																					
	<table border="1"> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>68,655 円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>0 円</td> </tr> </table>	事業費(A)	68,655 円	事業収入	0 円	<table border="1"> <tr> <td><b>支援金(B)</b></td> <td><b>61,789 円</b></td> </tr> <tr> <td>事業費に占める支援率(B/A)</td> <td>90%</td> </tr> </table>	<b>支援金(B)</b>	<b>61,789 円</b>	事業費に占める支援率(B/A)	90%												
事業費(A)	68,655 円																					
事業収入	0 円																					
<b>支援金(B)</b>	<b>61,789 円</b>																					
事業費に占める支援率(B/A)	90%																					
	事業費内訳(単位:円)																					
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>講師謝礼、デザイン料</td> <td>17,700</td> <td>4</td> <td>会場使用料</td> <td>16,810</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>コピー用紙、インク代</td> <td>5,215</td> <td colspan="2">1~4 合計(A)</td> <td>68,655</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>チラシ・ポスター料</td> <td>28,930</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>	1	講師謝礼、デザイン料	17,700	4	会場使用料	16,810	2	コピー用紙、インク代	5,215	1~4 合計(A)		68,655	3	チラシ・ポスター料	28,930						
1	講師謝礼、デザイン料	17,700	4	会場使用料	16,810																	
2	コピー用紙、インク代	5,215	1~4 合計(A)		68,655																	
3	チラシ・ポスター料	28,930																				

効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが自己発揮できる場を充実させ、自己肯定感が高まるような内容になった。</li> <li>・主催者・講師・参加者が繋がりを持ち、子どもの居場所づくりや絆づくりの場となった。</li> </ul>
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

工夫したこと	音楽体験の拡充:普段はなかなかできない和太鼓の音を出すことで、迫力ある音を身体いっぱい感じてもらいました。②オリジナル曲の創作:「夏といえば?」というお題からキーワードを出してもらい、それを軸にオリジナルの和太鼓曲をみんなで作り上げました。子どもたちのアイデアと創造力が活かされました。③楽しさと経験の積み重ね:1時間のワークショップで、子どもたちは「やりたい!」「できた!」という気持ちを共有し、心に残る音楽体験を積み重ねました。このように、ご家族と一緒に楽しみながら和太鼓の響きを共有し、主体的にお子さまが取り組めるように工夫しました。
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

担当者より	参加したご家族がみんなで一緒に安心して楽しめるよう心がけました。「障害のある子がのびのび参加できるイベントは少ないので、このような企画はとても嬉しい」「日常気づかない子どもの一面を知ることができ親としても貴重な体験になった」などご感想をいただき、開催して良かったと感じました。お子さまの長所を伸ばす体験を提供し、新たな出会いやつながりを大切にしながら今後も活動していきます。
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



アイデアを出しながらみんなでオリジナル曲をつくり演奏しました



和太鼓のソロ演奏



みんな真剣に聴き入ります



いよいよ曲の総仕上げ！



最後は一曲通して演奏しました

#### 団体概要

発達の良い気になるお子さま、発達障がい・知的障がいのあるお子さまとそのご家族を対象に、音楽やアート、スポーツ等のプログラムを企画し、専門の講師を招いてイベントを開催する活動をしています。楽しみながらお子さまの長所を伸ばし、支える側の大人たちにとっても支えの場所となることを目指しています。

問合わせ先

氏名: 杉尾 麻帆

e-mail: [special.kids.project@gmail.com](mailto:special.kids.project@gmail.com)

団体名	千葉県ダンススポーツ連盟千葉西支部		
事業名	初心者向け社交ダンススポーツ講習会	種別	I型(1年目)

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中年や高齢者は運動をする機会が少ない</li> <li>・退職後の人的交流の手段として生涯スポーツの参加を促したい</li> </ul>
----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業内容・目的	<b>初心者向け社交ダンススポーツ講習会</b>											
	【目的:ダンススポーツを通じて、健康増進を図る】											
	<input checked="" type="checkbox"/> いつ? 第1回 令和5年9月13日(水) 第2回 令和5年9月24日(日)	<input checked="" type="checkbox"/> 内容は? 第1回 初心者無料講習会 第2回 全日本チャンピオンの講習会	<input checked="" type="checkbox"/> どこで? 船橋アリーナ	<input checked="" type="checkbox"/> 参加者は? 第1回 41名 第2回 78名	<input checked="" type="checkbox"/> 講師は? 小島みなと氏 盛田めぐみ氏							
	第1回 千葉西支部理事上級ダンス指導員		第2回 全日本チャンピオンクラスダンサー									
	<table border="1"> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>108,930円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>156,000円</td> </tr> </table>		事業費(A)	108,930円	事業収入	156,000円	<table border="1"> <tr> <td><b>支援金(B)</b></td> <td><b>0円</b></td> </tr> <tr> <td>事業費に占める支援率(B/A)</td> <td>0%</td> </tr> </table>		<b>支援金(B)</b>	<b>0円</b>	事業費に占める支援率(B/A)	0%
	事業費(A)	108,930円										
	事業収入	156,000円										
	<b>支援金(B)</b>	<b>0円</b>										
	事業費に占める支援率(B/A)	0%										
	事業費内訳(単位:円)											
1	講師謝礼	70,000	4	通信費	4,340							
2	コピーインク代	5,790	5	会場使用料	22,160							
3	ポスター印刷代	6,640	1~5 合計(A)		108,930							

効果	・ダンススポーツを通じ交流が促進され、参加者の健康増進にもつながった
----	------------------------------------

工夫したこと	約開催2ヶ月前に多くの市内公民館にポスター掲示、また船橋市広報の掲示版やダンス雑誌にも掲載した。
--------	--------------------------------------------------

担当者より	当初予定の招致講師を変更し、スタンダード競技の全日本チャンピオン選手を招致したので、ダンス競技者の参加が多数となり予定より多い収入となった。
-------	------------------------------------------------------------------------



初心者無料講習会参加者



初心者無料講習会練習の様子



チャンピオン講習会実技

チャンピオン講習会参加者



団体概要

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟の千葉県ダンススポーツ連盟の下部組織として船橋市を拠点とする千葉西支部(担当エリア船橋市、習志野市、市川市、八千代市、鎌ヶ谷市、浦安市)で例年ダンス競技会及びチャリティーダンスパーティー、ダンス講習会を開催している。

問合わせ先

氏名: 大利

e-mail: Oori2024@gmail.com

団体名	ゴスペル・ママズ		
事業名	歌って、ハモってリフレッシュ！ゴスペルワークショップ	種別	I型(1年目)

**課題** ・3年以上続いたコロナ禍で閉塞感をいだき人前で声を出すことが少なくなり、ストレスを抱えていたり心身に不調をきたす方が多い

**歌って、ハモってリフレッシュ！ゴスペルワークショップ**  
【目的:歌を通して主婦の自己実現を促し、世代を超えて交流してもらう】

<input checked="" type="checkbox"/> いつ? 令和5年7月14日(金) <input checked="" type="checkbox"/> どこで? 西部公民館講堂 <input checked="" type="checkbox"/> 参加者は? 63名 (10代~90代まで幅広い世代) <input checked="" type="checkbox"/> 参加者の様子は? 「楽しくてすっきりした気分」や「活気あふれるワークショップの開催ありがとう」など、満足していただいた。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施内容は? ・ストレッチ、リズム体操、発声練習 ・ゴスペル・ママズのデモ歌唱・ミニライブ ・参加者とゴスペル・ママズによる全員合唱 ・参加者のみでステージ演奏
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業費(A)	90,828円	<b>支援金(B)</b>	<b>81,745円</b>
事業収入	0円	事業費に占める支援率(B/A)	90%

事業費内訳(単位:円)

1	講師謝礼・スタッフ謝礼	55,556	4	チラシ送料	370
2	印刷用紙	1,762	5	イベント保険料	3,000
3	ポスター・チラシ印刷代	5,340	6	会場使用料	24,800
				1~6 合計(A)	90,828

**効果** ・コロナ禍の中、声を出すことに抵抗感があった方々に心も体もリフレッシュしてもらえた

**工夫したこと** 初めてゴスペルに触れる参加者もいると想定されたので、初心者でも取り組みやすい比較的簡単なゴスペル曲を課題曲とした。曲を仕上げるだけでなく、最後に参加者全員ステージに上がってもらい、ライブ形式で発表。ステージ上でパフォーマンスする楽しさを体感してもらう場を設けた。

**担当者より** 今回の事業では、10代~90代までの幅広い世代の、多くの方に参加頂きました。後のアンケートより「久しぶりに声を出して楽しかった」「ひたすら楽しくてすっきりした気分」「活気あふれるワークショップの開催ありがとう」など、本事業に満足頂いた声が多く寄せられました。コロナ禍の中、声を出すことに抵抗があった方々が、本事業に参加して心も体もリフレッシュできたことに、大きな成果を感じることができました。



『まずは体をほぐして』  
軽いストレッチ  
音楽に乗って、スウェイやクラップの練習



『ゴスペル・マムズによるデモ演奏』  
マムズがまず、課題曲を演奏。



『パートに分かれて音取り』  
希望のパート(ソプラノ・メゾソプラノ・アルト)  
に分かれて、順に音取り。



『参加者によるステージパフォーマンス』  
仕上がった課題曲を参加者全員で、  
ステージ上で披露。

団体概要

2002年に船橋市塚田地区のママ友達で結成した女性ゴスペルサークル。「世代を超えた交流」「地域での社会貢献」を目的に、地域・世代を越えてメンバーが集まり、活動しています。

問合わせ先 氏名: 牧 典子 e-mail: [gospelmums2002@gmail.com](mailto:gospelmums2002@gmail.com)

団体名	MOA 健康生活ネットワーク船橋		
事業名	一輪の花を生けるために空き缶を使ったリサイクル花器づくり	種別	I型(1年目)

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめや家庭内虐待が増えている</li> <li>・ゲーム等の普及により、コミュニケーション能力を養う機会が減っている。</li> </ul>
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業内容・目的	<b>一輪の花を生けるために空き缶を使ったリサイクル花器づくり</b>										
	【目的:親子が一緒に参加出来る企画を通じてコミュニケーションの一助にしてほしい】										
	<input checked="" type="checkbox"/> いつ? 令和5年7月29日(土)	<input checked="" type="checkbox"/> 内容は?									
	<input checked="" type="checkbox"/> どこで? 中央公民館 第2集会室	親子(幼・保育園児、小学校低学年とその保護者)を対象に、空き缶を使ってリサイクル花器を作り、一輪の花を生けて楽しむ									
	<input checked="" type="checkbox"/> 参加者は? 15名(幼稚園生2名、小学1~3年生7名、父母6名参加)	<input checked="" type="checkbox"/> 工夫したことは? 子供が対象なので多くの色画用紙を用意し、楽しく制作できる準備をした。その結果親子のコミュニケーションの醸成につながった。									
<table border="1"> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>18,872円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>0円</td> </tr> </table>	事業費(A)	18,872円	事業収入	0円	<table border="1"> <tr> <td><b>支援金(B)</b></td> <td><b>16,984円</b></td> </tr> <tr> <td>事業費に占める支援率(B/A)</td> <td>90%</td> </tr> </table>	<b>支援金(B)</b>	<b>16,984円</b>	事業費に占める支援率(B/A)	90%		
事業費(A)	18,872円										
事業収入	0円										
<b>支援金(B)</b>	<b>16,984円</b>										
事業費に占める支援率(B/A)	90%										
事業費内訳(単位:円)											
1	データ作成料	5,000	4	会場使用料	1,390						
2	画用紙・材料費・花代	8,137	1~4 合計(A)		18,872						
3	チラシ印刷代	4,345									

効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で作った花器に花を活け、観賞することで愛情や明るさが生まれ、心身の健康につながった。</li> <li>・参加した子供たちが笑顔で満足した様子であり、親子のコミュニケーションの場を作れた。</li> </ul>
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

工夫したこと	普段の活動では大人が対象でしたので、今回は対象者に合わせ、なるべくシンプルで簡単に花器を作成して、お花をいけることを楽しめるようにしました。
--------	------------------------------------------------------------------------

担当者より	家庭の中にお花を飾ってあることで家庭が和やかになり、ひいては地域がいじめや虐待などのない、明るい家庭が増えることを願って活動を続けていきたいと思っています。
-------	--------------------------------------------------------------------------------



花器を作成しているところ



上手に花器が作れたよ



お花をいけるときの説明を聞いているところ



生けたお花を見たり保護者の方と「上手にできたね」

#### 団体概要

- ・一輪のお花をいけて楽しんでもらうために、空き缶を利用した花器を作り、そこに花をいけて、飾る活動を市民に向けて講習会等を行う
- ・デイサービス等で利用者の方と共に一輪の花をいけることを楽しむ
- ・食育を広める料理教室等を開催し、ともに健康を考える

問い合わせ先 氏名: 古川和子 email: moa.kenkouseikatsu.funabashi@gmail.com

団体名	童謡文化の会	
事業名	童謡・唱歌歌って、学ぼう！	種別 I型(1年目)

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代、童謡・唱歌が歌われなくなっており、その曲についても学ぶ機会は少ない</li> <li>・船橋市にゆかりのある童謡が知られていない</li> </ul>
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業内容・目的	童謡・唱歌を歌って学ぼう！																		
	【目的:童謡・唱歌を皆で歌い、曲に込められた想いや背景について学ぶ機会の提供】																		
	<input checked="" type="checkbox"/> いつ? 令和5年9月26日(火) <input checked="" type="checkbox"/> どこで? 市民文化創造館(きららホール) <input checked="" type="checkbox"/> 内容は? 第1部 「童謡・唱歌講座」 第2部 こころに響く歌～日本の四季～	<input checked="" type="checkbox"/> 参加者は? 約 243 名 <input checked="" type="checkbox"/> 講師は? たいら いさお氏 元NHK うたのおにいさん、歌手、講師																	
	<table border="1"> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>95,450 円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>0 円</td> </tr> </table>	事業費(A)	95,450 円	事業収入	0 円	<table border="1"> <tr> <td><b>支援金(B)</b></td> <td><b>85,905 円</b></td> </tr> <tr> <td>事業費に占める支援率(B/A)</td> <td>90%</td> </tr> </table>	<b>支援金(B)</b>	<b>85,905 円</b>	事業費に占める支援率(B/A)	90%									
	事業費(A)	95,450 円																	
事業収入	0 円																		
<b>支援金(B)</b>	<b>85,905 円</b>																		
事業費に占める支援率(B/A)	90%																		
事業費内訳(単位:円)																			
<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>講師謝礼(2名分)</td> <td>50,000</td> <td>4</td> <td>郵送代</td> <td>3,360</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>資料印刷代</td> <td>5,376</td> <td>5</td> <td>会場使用料</td> <td>32,864</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ポスターチラシ代</td> <td>3,850</td> <td>1~5</td> <td>合計(A)</td> <td>95,450</td> </tr> </table>	1	講師謝礼(2名分)	50,000	4	郵送代	3,360	2	資料印刷代	5,376	5	会場使用料	32,864	3	ポスターチラシ代	3,850	1~5	合計(A)	95,450	
1	講師謝礼(2名分)	50,000	4	郵送代	3,360														
2	資料印刷代	5,376	5	会場使用料	32,864														
3	ポスターチラシ代	3,850	1~5	合計(A)	95,450														

効果	・童謡・唱歌を歌うだけでなく、曲の背景や作者の想いを理解してもらい次世代に歌い継いでいくきっかけとなった。
----	-------------------------------------------------------

工夫したこと	① コロナ感染は収まり人数制限等は解除された時期ではありましたが、会場の全員で歌う場面も多かった為、受付にマスクと手指消毒液を用意し、マスク着用をお願いしました。大半の方がマスクを持参し着用されていました。 ② 会場の定員があり、チケットを作成し参加者には配布しましたが、当日の来場者数の読みは難しかったです。実際は定員内に収まり、ほぼ満席でした。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

担当者より	船橋市にゆかりのある童謡は数少なく、今回は斎藤信夫作詞の「里の秋」「蛙の笛」の二曲を取り上げ、千葉県にゆかりのある「月の沙漠」「宵待ち草」、皆さんの知っている「赤い靴」「蝶々」「見渡せば」のプログラムの選曲に工夫しましたが、講師の先生の課題を踏まえた曲の説明・歌い方の指導で、楽しく学び大きな声で歌い、参加者の皆さんには、コロナ禍の自粛から解放され、貴重な癒しのひと時となったようでした。始めは迷いましたが、実施させて頂いて良かったと思います。
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



チラシとチケット



その曲の作られた背景や作詞家・作曲家の想いを解りやすく説明し、皆さんと一緒に歌う、講師のたいらいさお先生



講師の話に耳を傾け、大きな声で歌い、楽しいひと時を満喫された様子の、ホールいっぱいの参加者の皆さん



会員の合唱～日本の四季～♪夏の思い出♪紅葉♪冬景色♪さくら。中田喜直作曲の「さくら」は始めて聴かれる方も多かったようですが、「素敵な歌ですね」の声も…

**団体概要**

令和元年 10 月に発足した当会ですが、月 1 回の集まりで当初は童謡・唱歌を中心にその曲の作詞家・作曲家の想い、作られた背景を学びながら、どう歌ったらよいかを学んできました。令和 5 年 10 月からは、講座「皆んなで歌って！皆んなで学ぼう！」～歌で巡る日本の旅情～と題して、今までの内容に加え、何県に関係する歌かを知り、歌いながら日本中を楽しく旅しています。

問合わせ先 氏名: 篠永 誠子 e-mail: Seiko-s@kaitekiseikatsu-club.jp

団体名	むねあかどり	
事業名	『地域のHUB(ハブ)=つなぎ役に』高齢社会・障害福祉を学び、介護している方へのリフレッシュを。	種別 I型(1年目)

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍においての社会の繋がり希薄が感じられる</li> <li>・超高齢化社会における高齢者への理解、認知症に対する知識が足りない</li> </ul>
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業内容・目的	『地域のHUB(ハブ)=つなぎ役に』高齢社会・障害福祉を学び、介護している方へのリフレッシュを。 【目的:地域密着型のカフェ、レンタルスペースと力を合わせ、地域の活性化に繋げる】														
	<input checked="" type="checkbox"/> いつ? 令和5年11月25日(土) <input checked="" type="checkbox"/> どこで? ・午前の部 カフェシンシア ・午後の部 薬円台公民館 <input checked="" type="checkbox"/> 参加者は? 近隣住民、当事者とその介護者	<input checked="" type="checkbox"/> 内容は? 習志野台地域包括支援センターによる声掛け訓練概要の説明・グループに分けて体験音楽(ギターと歌) 「若年性アルツハイマーになりました」の著者御家族様からのスピーチ、アメリカで事故に遭い障がいを抱えている学生からの体験談を1分間スピーチ。													
	<table border="1"> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>53,309円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>2,400円</td> </tr> </table>	事業費(A)	53,309円	事業収入	2,400円	<table border="1"> <tr> <td><b>支援金(B)</b></td> <td><b>47,978円</b></td> </tr> <tr> <td>事業費に占める支援率(B/A)</td> <td>90%</td> </tr> </table>	<b>支援金(B)</b>	<b>47,978円</b>	事業費に占める支援率(B/A)	90%					
	事業費(A)	53,309円													
	事業収入	2,400円													
<b>支援金(B)</b>	<b>47,978円</b>														
事業費に占める支援率(B/A)	90%														
事業費内訳(単位:円)															
<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>報償費</td> <td>50,000</td> <td>3</td> <td>会場使用料</td> <td>1,390</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>チラシ印刷代</td> <td>1,919</td> <td colspan="2">1~3 合計(A)</td> <td>53,309</td> </tr> </table>	1	報償費	50,000	3	会場使用料	1,390	2	チラシ印刷代	1,919	1~3 合計(A)		53,309			
1	報償費	50,000	3	会場使用料	1,390										
2	チラシ印刷代	1,919	1~3 合計(A)		53,309										

効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントを通し地域住民の方や様々なジャンルの業種の方々など幅広い年齢層の方と交流できた。</li> <li>・参加者には、高齢社会や障害福祉への理解を深めてもらった。</li> </ul>
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

工夫したこと	地域包括支援センターの協力を得て体験型にしたこと。 徘徊して迷子になる高齢者の方にどうお声がけしたら良いか 迷子側の役も作りグループにわけて体験してもらった。また場所を午前にはカフェにしたことにより、雰囲気も柔らかくなり交流も生まれることを期待した。
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

担当者より	集客については今後の課題です。特に公民館については参加費を安くしたにもかかわらず集めるのに一苦労しました。内容についてはいいものであるから、本当だと町会を通じても告知できたらなと思った。今回は地域包括支援センターとのコラボができたのは、大変良い実績になったと思う。体験型を通じ会話も増えるので市民同士もコミュニケーションが取れたことが想像以上の成果だった。
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



カフェインシアでの体験イベントの様子



薬円台公民館での体験イベントの様子

**団体概要**

地域住民に認知症、高齢社会、福祉についての学びを啓蒙することにより、住みやすい船橋市、地域共生社会を目指す。

問合わせ先

氏名: 松本直子 e-mail: [n.grace.home.ask.0331@gmail.com](mailto:n.grace.home.ask.0331@gmail.com)

団体名 NPO 法人千葉県中途失聴者・難聴者協会 東葛南事務所 船橋友の会

事業名 難聴者と会話しやすくなるコミュニケーション講座

種別

I型(1年目)

課題

- ・難聴者は、話せるが聞こえない人が多く、周囲から障害について理解されにくい
- ・コミュニケーションがうまくいかず、精神的に孤独感を感じたり、孤立する人がいる

事業内容・目的

### 難聴者と会話しやすくなるコミュニケーション講座

【目的:難聴に対する正しい理解の促進と、コミュニケーション方法の普及】

☑ いつ? 令和5年9月10日(日)

☑ どこで? 宮本公民館

☑ 内容は?

難聴の特性や社会的状況、「合理的配慮」を理解してもらい、難聴の聞こえを疑似的に体験・参加者を交えてのゲームなど行った

☑ 参加者は? 117名

(船橋在住・在勤者は54名)

☑ 講師は?

岩尾至和氏

(一般社団法人言葉のかけはし代表理事)

事業費(A) 93,003円

事業収入 0円

**支援金(B)**

**83,702円**

事業費に占める支援率(B/A) 90%

事業費内訳(単位:円)

1	講師謝礼	55,556	4	切手代	3,220
2	インク・封筒代	11,017	5	使用料	12,900
3	チラシ印刷代	10,310	1~5 合計(A)		93,003

効果

- ・参加者に難聴についての正しい理解を促すとともに主催者側にとっても深い学びがあった
- ・講演だけでなく実践的でわかりやすい内容であったためより深い理解につながった。

工夫したこと

- ・難聴者の親として、社会への難聴の認知・啓発活動を、楽しくわかりやすく実践している講師を選定し、世の中の動きに合致した説明、より理解が深まるゲーム要素のある体験など、幅広い内容を盛り込んでもらった。
- ・難聴当事者自身の啓発も意図し、情報量の多いパソコン要約筆記を採用した。

担当者より

- ・事業に採択していただけたことで、遠方の講師から直接お話を伺う事ができ、また機材費のかかるパソコン要約筆記を導入し、聞こえにくい人にも多くの情報をお届けすることができました。また、市役所の各課のご協力により、会場確保や広報もスムーズで、多くの方の参加につながりました。感謝の気持ちでいっぱいです。
  - ・難聴者が身近にいる人たちから、認識を新たにしたり、との感想があり、画期的な講演会になったと自負しています。
- 今後も多くの一般の方に向けて、難聴理解を広げていきます。



準備の様子  
 (PC 要約筆記の表出、  
 手話通訳の見え方、  
 講師の立ち位置など確認)



笑顔で講演される岩尾氏



参加者も舞台上がってジェスチャーゲームに挑戦



講演中の会場の様子



プラスコミュニケーションの9つの基本要素

### 団体概要

人生の半ばで聞こえない、聞こえにくい状況となり、周囲から孤立しがちな人たちのコミュニケーション・社会生活全般に関わる支援する団体です。  
 「聞こえなくても大丈夫！」を合言葉に、当事者である中途失聴者・難聴者が中心となって、手話学習会や交流会、講演会などを行っております。

問い合わせ先

氏名: 近藤真由 e-mail: [mayution@quartz.ocn.ne.jp](mailto:mayution@quartz.ocn.ne.jp)

団体名	一般社団法人 マザーナースオリーブ	
事業名	医療者による子育てイベント	種別 II型(2年目)

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族化やコロナウイルスの影響により、子育て中の母親の孤立感や閉塞感が生じている</li> <li>・情報過多の社会で子育て世帯が正しい情報を収集することが困難な状況である</li> </ul>
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業内容・目的	<b>医療者による子育てイベント</b>								
	【目的】子を育てる親同士のコミュニケーションを促進し、人との繋がりができるよう支援を行う								
	<input checked="" type="checkbox"/> いつ？ 1回目 令和5年10月27日(金) 2回目 令和6年1月23日(土) 3回目 令和6年3月23日(土)	<input checked="" type="checkbox"/> 内容は？ ・1回目 相談会とベビーダンス ・2回目 親子のためのクリスマス会 ・3回目 ベビーマッサージと癒しのフェア							
	<input checked="" type="checkbox"/> どこで？ 勤労市民センター	<input checked="" type="checkbox"/> 参加者は？ ・1回目 30組 ・2回目 47家族166名 ・3回目 16家族							
	<table border="1"> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>265,155円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>153,591円</td> </tr> </table>	事業費(A)	265,155円	事業収入	153,591円	<table border="1"> <tr> <td><b>支援金(B)</b></td> <td><b>111,564円</b></td> </tr> <tr> <td>事業費に占める支援率(B/A)</td> <td>42%</td> </tr> </table>	<b>支援金(B)</b>	<b>111,564円</b>	事業費に占める支援率(B/A)
事業費(A)	265,155円								
事業収入	153,591円								
<b>支援金(B)</b>	<b>111,564円</b>								
事業費に占める支援率(B/A)	42%								
事業費内訳(単位:円)									
1	講師謝礼	102,000	5	イベント保険料	12,933				
2	消耗品費	39,847	6	会場使用料	63,580				
3	チラシコピー代	27,605	7	その他	15,860				
4	郵送代	3,330	1~5 合計(A)		265,155				

効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子同士コミュニケーションを深めることにより子育てにおける孤独感や閉塞感を軽減できた。</li> <li>・医療者や専門家との連携で協力者の輪を広げた結果、有益で個別性のあるアドバイスができた。</li> </ul>
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

工夫したこと	<p>多様なプログラムの提供により子育て中の方の興味を引き、それにより多職種の医療者・専門家とつながり、信頼できる情報を提供、不安などを解消をでき、総合的にフォローできるように工夫した。</p> <p>コミュニティの形成ができるように、インスタなどでの情報の発信などを継続させた。</p>
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

担当者より	<p>コロナが5類に移行したとはいえ、子育て中の方の様子はずいぶんかわってしまった。コロナ後の子育ての良いところは受け入れつつ、ママ友を作りにくい環境など弊害やSNSの情報の蔓延での混乱を正す様に、今後も医療者や専門家に継続的に気軽につながれるようにしたいと思った。</p>
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



クリスマス会スタッフ（医療者・  
専門家・ボランティア）

## 癒しのフェアと

## ベビーマッサージのスタッフ



相談ブース



ベビードانس

## 船橋市勤労市民センター

### 団体概要

小児科看護師の子育て支援団体。小児科の知識と経験で子育て中の方を支援している。また、子育ての関わる医療者と専門家で総合支援。親子の心に残る楽しいイベントの企画と、子育てに役立つセミナーやおしゃべり会を開催している。

問合わせ先

氏名: 西村智美

e-mail: [m.nurse1122@gmail.com](mailto:m.nurse1122@gmail.com)

団体名	はぐくみハグミー		
事業名	障がいという壁をなくし住みやすい地域社会の実現を目指す	種別	Ⅱ型(1年目)

**課題** ・障がいを抱える子を持つ保護者同士が悩みを相談する場や、情報共有の場が少ない

障がいという壁をなくし住みやすい地域社会の実現を目指す  
【目的:障害のある子どもを持つ親への支援や情報提供、社会参加できる機会の提供】

<input checked="" type="checkbox"/> いつ? ・第1回 令和5年5月18日(木) ・第2回 令和5年6月20日(火) ・第3回 令和5年7月27日(木) ・第4回 令和5年8月22日(火) ・第5回 令和5年11月23日(木祝)	<input checked="" type="checkbox"/> 参加者は? ・第1回 13名 ・第4回 約50名 ・第2回 11名 ・第5回 12名 ・第3回 5名
<input checked="" type="checkbox"/> どこで? ・第1、2、5回放課後デイサービスパレット ・第3回 高根公民館 ・第4回北部公民館	<input checked="" type="checkbox"/> 内容は? ・第1回 役所に聞きたい疑問・質問 ・第2回 障害福祉のあらましについての講座 ・第3回 夏休みの過ごし方についてお話会 ・第4回 バリアフリーフェスティバル ・第5回 避難訓練

事業費(A)	45,266 円	<b>支援金(B)</b>	<b>27,159 円</b>
事業収入	15,500 円	事業費に占める支援率(B/A)	60%

事業費内訳(単位:円)

1	講師料	10,000	4	会場使用料	11,170
2	用紙・インク代	6,488	5	景品代	15,399
3	チラシ印刷代	2,209	1~5 合計(A)		45,266

**効果** ・様々なイベントを通し、悩みを抱えた保護者同士が交流・意見交換することで、適切な情報を共有し、子供たちの現在と将来を地域と共に考えていくきっかけとなった

**工夫したこと** 学校・病院・進路・行政の手続き関係などの情報交換会や、専門の方を招いて福祉サービスの勉強会・ママパパのリフレッシュお茶会などを定期的に行いました。  
外のイベントなどに普段なかなか参加できない障がいを持つお子さんが、のびのびと参加できる子ども向けのイベント活動もしました。  
都内の自立支援センターと一緒にレンジャーショーを開催したり、夏祭りをしたり、ふなばし夏のボランティア体験事業では、インクルーシブ運動会を行い、多くの学生ボランティアと障がい児とが触れ合う機会となり、また地域の放課後等デイサービス事業所も参加され、交流ができました。

**担当者より** 今までもどかしい気持ちで活動を続けていましたが、市民公益活動公募型支援事業として採択されたことで、活動の幅が広がり、団体が周知されたことで沢山の新しい出会いにつながりました。役所と保護者の声を繋ぐパイプ役として、今後は事業所や地域の他団体の皆様とも協働しながら、地域に根ざした活動をしていきます。



夏休みの過ごし方についてお話会の様子



バリアフリーフェスティバル開催の様子

**【団体概要】**

発達障がい、ADHD、身体的障がい、ダウン症など、発達に不安のあるお子さんをお持ちの保護者で発足しました。多くの情報源を持つ保護者同士が繋がることで、将来への不安を少しでも軽減し、大きな声として問題提起をし、社会の仕組みや制度が改善されるよう働きかけ、子どもたちの未来の生活のしやすさを創って行きたいです。「今」だけの活動ではなく、障がいを見守り支え合う地域社会の実現に向けて「未来」に繋げていく活動をしています。

問合わせ先

氏名: カワオト

e-mail: hagukumihagumii@gmail.com

## これまでの交付実績 (平成 22 年度～令和 5 年度)

補助金を使って事業を実施した団体と事業の一覧です。分野ごとに掲載していますので、過去の事例を参考に、本制度の活用を検討していただけると幸いです。

各事業の詳細は、過去の事例集をご覧ください。

過去の事例集(市 HP にリンクしています。) ※「H〇〇、R〇」は実施年度を示します。

H22	H23	H24	H25	H26	H27
					
H28	H29	H30	R1	R2	R3
					
R4	R5				
					

## 1 保健、医療又は福祉の増進

団体名	事業名	実施年度			
船橋市手話サークル さざんか	ひろげよう“手話の輪”！聞こえない人たちも暮らしやすい船橋に	H30			
NPO法人生き方応援団ララ	心のバリアフリーで船橋をモデル都市に！障がい福祉事業	H28			
ふれあい船橋	触れ合うことによるコミュニケーションの提案事業	H27	H28		
公益社団法人船橋地域福祉・介護・医療推進機構	「食と健康」に関するシンポジウムの開催	H22	H23	H24	H25
	船橋地域福祉相談会「船橋福祉塾」	H26			
NPO法人うえるかむ権利擁護サポートセンター船橋	知的障害者と家族等の権利擁護と成年後見制度の相談と支援事業	H23	H24	H25	H26
NPO法人 船橋ウォーキング・ソサイエティ	市民の為の各種ウォーキング体験会にて、健康増進活動推進事業	H23	H24	H25	H26
オアシス家族会	精神障害者を抱える家族に対する支援事業	H24	H25	H26	

団体名	事業名	実施年度			
特定非営利活動法人 千葉県中途失聴者・難聴者協会	文字を生かしてコミュニケーション「筆談を学ぼう」講座	H24	H25	H26	
市民後見センターちば・船橋	成年後見制度を広く船橋市民に広め、市民後見人を養成する事業	H23	H24	H25	
プレシャスライフ倶楽部	粋・生き健康生活づくりですこやか船橋！市民協働の健康とまちづくり事業	H24			
NPO 法人シニア・システム協議会	中・高齢者のためのマナトモ大学で生涯学習をたのしもう	H22			
Smile 船橋ビンちゃんと	笑いヨガ講座	R2			
船橋行田公園走友会	第30回 船橋行田公園 100 kmリレーマラソン大会	R3	R4	R5	
NPO法人発達障害支援ネットYELL	発達障害に関する講演会	R3	R4	R5	
一般社団法人 マザーナース オリーブ	スマイル！ママ笑って♡～医療者による子育てイベント～	R4	R5		
スペシャルキッズプロジェクト	スペシャルキッズプロジェクト「和太鼓ワークショップ」	R5			
MOA 健康生活ネットワーク船橋	一輪の花を生けるために空き缶を使ったりサイクル花器づくり	R5			
むねあかどり	『地域のHUB（ハブ）=つなぎ役に』高齢社会・障害者福祉を学び、介護してる方へのリフレッシュを。	R5			
NPO 法人 千葉県中途失聴者・難聴者協会東葛南事務所 船橋友の会	難聴者と会話しやすくなるコミュニケーション講座	R5			
はぐくみハグミー	障害という壁をなくし住みやすい地域社会の実現を目指す	R5			

## 2 社会教育の推進

団体名	事業名	実施年度			
正伯塾	ふなばし郷土史講座	H27			
“伝えよう船橋”の会	船橋かるたによる、子供の健全育成を図る活動及び住みよい魅力あるまちづくり推進	H24	H25	H26	H27

## 3 まちづくりの推進

団体名	事業名	実施年度			
丸山を元気にする会	周辺農家、大学生、専門家と連携した魅力的な船橋市丸山地域づくり事業	H27			
船橋金杉 club	地域友好促進支援サポート事業	H22			
街に花と緑の会	前原西2丁目花と緑のまちづくり活動	H23	H24	H25	H26
ふるさとまちづくりの会	お休みどころ「かつしか」の設置	H22			

団体名	事業名	実施年度			
ふなばしっが海遊創生協議会	「船橋お散歩海道」プロジェクト	H22	H23		
船橋美し学園街づくり館運営協議会	坪井地区(船橋美し学園)コミュニティ自立推進活動	H22			

## 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興

団体名	事業名	実施年度			
船橋の民話をきく会	子ども達に船橋の民話を、のこす・つたえる・ひろめる・とどける事業	R1			
船橋障害者スポーツ・レクリエーション協会	船橋市障害者スポーツ・レクリエーションの普及・推進	H24	H25	H26	H27
千葉 桃の会	世代を超えてみんなで唱歌・童謡を歌おう	H23	H24	H25	H26
船橋古文書の会	読んでみませんか！古文書講座(初級編)	R3	R4	R5	
NPO法人 囲碁文化継承の会	囲碁交流による健全な児童、健全な家庭、潤いのある地域社会づくり事業	H22	H23	H24	
湖紫菟花のサークル	伝統文化 子どもたちのいけ花教室	H22	H23		
自遊時感工房	地域におけるスポーツを通じた障害者の社会参加の促進！	H22	H23		
二和劇場ボランティア実行委員会	市民が創る二和劇場 初笑い二和寄席	H22			
千葉県ダンススポーツ連盟千葉西支部	社交ダンススポーツの普及活動	R5			
ゴスペル・ママズ	歌って、ハモってリフレッシュ！ゴスペルワークショップ	R5			
童謡文化の会	童謡・唱歌を歌って、学ぼう！	R5			

## 7 環境の保全

団体名	事業名	実施年度			
NPO 法人環境を考える市民の会	市民と育む持続可能な環境に向け学び塾の実施	H28	H29	H30	
アースドクターふなばし	～次世代を担う子どもたちに向けて～地球温暖化防止・啓発事業	H29			
三番瀬写真展実行委員会	第4回みんなの三番瀬写真	H27	H28	H29	
NGO三番瀬のラムサール条約登録を実現する会	三番瀬・東京湾のお魚・生き物出前授業	H27	H28		
フィールドミュージアム・三番瀬の会	三番瀬をフィールドとし、生き物の生物生態系や自然環境の循環を学び、市民としてまちづくりに貢献する事業	H23	H24	H25	H27
坪井湿地を復活する会	坪井のヘイケボタル復活計画	H24	H25	H26	H27
三番瀬カレンダー制作実行委員会	三番瀬カレンダー制作	H24	H25	H26	

団体名	事業名	実施年度			
NGO三番瀬のラムサール条約登録を実現する会	三番瀬食文化出前講座	H22	H23	H24	H25
ふなばし木の子の森	ふなばし木の子の森:わんぱく講座	H24			
NPO法人 環境を考える市民の会	市民と育む海老川うるおい創生活動	H22	H23	H24	
アースドクターふなばし	めざすはストップ地球温暖化	H22			
塚田環境フェア2010実行委員会	塚田環境フェア2010と15周年事業	H22			
特定非営利活動法人 環境カウンセラー千葉県協議会	「うちエコ診断」で、身近なところから地球温暖化防止活動に参加しよう！	R4			

## 8 災害救援

団体名	事業名	実施年度			
NPO法人シビルまちづくりステーション 船橋防災関連プロジェクトチーム	「土砂災害から身をまもる」に関する調査・提言、知識普及および広報事業	H25	H26	H27	
船橋 SL ネットワーク	いざ災害！！わが身わが命は自分でまもる	H22	H23	H24	

## 9 地域安全

団体名	事業名	実施年度			
船橋東交通安全協会	交通安全を市民に普及する交通安全広報・啓発活動事業	H22	H23	H24	
(社)船橋交通安全協会	交通安全を市民に普及する交通安全及び啓発活動	H22	H23	H24	
自転車運転マナー推進委員会	公道走行に於ける自転車安全マナー実践教室開催	H22	H23	H24	

## 10 人権の擁護又は平和の推進

団体名	事業名	実施年度			
原爆の絵展・平和のつどい実行委員会	平和啓発事業	H22	H23	H24	

## 11 国際協力

団体名	事業名	実施年度			
船橋英語連盟	船橋市が国際都市にふさわしい親善や交流を行える資質のある市民を増やす。船橋市民として英語を通して国際感覚、外国人とのコミュニケーション力を身につける。	H24	H25	H26	
フェアトレードちば	フェアトレードちばを知り学び味わう！コーヒーワークショップの実施	R3	R4		

## 12 男女共同参画社会の形成

団体名	事業名	実施年度			
船橋パパ会	「家族で子育てを楽しむ地域づくり～パパが変われば地域が変わる～」	H30			
船橋ワーキングマザーの会	働く/働きたいママのための地域コミュニティ	H25	H26	H27	H28
NPO 法人 JASH 日本性の健康協会	船橋にも多様な性を語れる交流会を！	R2	R3	R4	

## 13 子供の健全育成

団体名	事業名	実施年度			
子ども食堂 こっこ	こっこが街にやってくる&こっこで学ぼう	H30	R1		
ワーカーズコープちば	制服バンク	H29	H30	R1	
親業ひまわりの会	心と心のかけ橋を作る、コミュニケーションの基本を学び広める公益活動	H25	H27	H28	
夢を育てるキャリア教育の会	「自分らしく生きる力を～」夢を育てるキャリア教育の推進・普及活動とキャリア教育支援活動事業	H27			
NPO法人 くーおん	「からだづくりを通じて心を育てる」運動が苦手な子への運動サポート事業	H25			
M あんどB	読書活動の一環として子どもの人形劇講座	H24			
0・2歳児親子遊び「かしの木会」	0・2歳児親子遊び事業「どんぐり会」「ジーバー会」	H22	H23	H24	
西船保育園父母会	孤独な育児に対してのアプローチ『ひとりぼっちで悩むのはやめよう』虐待防止に対してのアプローチ『子育てを大いに楽しもう』	H23			
パートナーズオブライフ	高齢者が生き生き人生を全うするための協働支援事業	H22			
プレーパーク船橋	講演会「子どもたちの遊びの世界」	R2			
	長津川プレーパーク～ロープワークをマスターして遊び場を手作りしよう！～	R3	R4		
いごっちクラブ	囲碁で友だちの輪をつくろう	R5			

## 16 経済活動の活性化

団体名	事業名	実施年度			
船橋漁港の朝市委員会	みんなおいでよ！船橋漁港の朝市	H24	H25	H26	H27
丸山を元気にする会	丸山を元気にしよう！朝市・夕市の開催&丸山ひまわり110番を探せ！ハロウィンウォークラリーイベント開催	H22	H24	H26	
ふなばし街歩きネットワーク	船橋市における街案内ボランティア組織と活動の創出および人材育成事業	H22	H24	H25	

団体名	事業名	実施年度			
NPO法人 バイプランアソシエイツ	船橋新交通・渡船 FunabaSeaBus(水上バス)	H22			
船橋商工会議所青年部	市民・来訪者が求める船橋市のアンケート調査事業	H22			

## 19 NPO支援

団体名	事業名	実施年度			
市民協働推進連絡会	市民活動の活性化へのサポート	H24	H25		

## 21 その他

団体名	事業名	実施年度			
船橋市援農クラブ	農業ボランティア事業	H26	H27	H28	H29
船橋納税貯蓄組合連合会	租税納付及び広報活動関連事業	H22			

船橋市 市民生活部 市民協働課

〒273-8501 船橋市湊町2-10-25

TEL:047-436-3201

FAX:047-436-2299

E-mail:[shiminkyodo@city.funabashi.lg.jp](mailto:shiminkyodo@city.funabashi.lg.jp)